

## 鎌田 薫教授・略歴

- 1948年 1 月 静岡県に生まれる
- 1970年 3 月 早稲田大学法学部卒業
- 1972年 3 月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程民事法学専攻修了（法学修士）
- 1973年 4 月 早稲田大学法学部 助手（～1976年 3 月）
- 1976年 3 月 早稲田大学大学院法学研究科博士課程民事法学専攻単位取得退学
- 1976年 4 月 早稲田大学法学部 専任講師（～1978年 3 月）
- 1978年 4 月 早稲田大学法学部 助教授（～1983年 3 月）
- 1978年 4 月 長期在外研究（パリ第 2 大学, ～1980年 2 月）
- 1980年 4 月 東京大学社会科学研究所 非常勤講師（～1982年 3 月）
- 1981年 5 月 日本土地法学会 理事
- 1982年 4 月 立教大学法学部 非常勤講師（～1983年 3 月）
- 1983年 4 月 早稲田大学法学部 教授（～2005年 3 月）
- 1987年 4 月 一橋大学法学部 非常勤講師（～1991年 3 月）
- 1988年 4 月 不動産鑑定士試験 試験委員（民法）（～1990年10月）
- 1989年 4 月 一橋大学大学院法学研究科 非常勤講師（～1989年 9 月）
- 1989年 4 月 明治大学法学部 非常勤講師（～1989年 9 月）
- 1989年 4 月 立教大学法学部・大学院法学研究科 非常勤講師（～1991年 3 月）
- 1989年10月 産業構造審議会 臨時委員（知的財産政策部会、消費経済部会など）（～2017年 7 月）
- 1990年 9 月 早稲田大学法学部 教務主任（学生担当）（～1994年 9 月）
- 1991年 1 月 司法試験第 2 次試験考查委員（民法）（～2000年12月）
- 1991年 4 月 名古屋大学大学院法学研究科 非常勤講師（～1992年 3 月）
- 1992年 5 月 （社）日本都市計画学会 理事（～1996年 5 月）
- 1993年11月 法制審議会 民法部会幹事（～1998年12月）
- 1994年 7 月 北海道大学大学院法学研究科 非常勤講師（～1994年 9 月）
- 1995年11月 中央葉事審議会 委員（～2001年 1 月）
- 1996年10月 金融法学会 理事
- 1997年 6 月 工業所有権審議会 臨時委員（法制部会損害賠償等小委員会委員長代理など）（～1999年 7 月）
- 1998年 7 月 法制審議会 倒産法部会幹事（～1998年12月）
- 1998年11月 JICA カンボディア重要政策中枢支援「法制度整備」民法作業部会 委員（～2013年 3 月）
- 1998年12月 法制審議会 民法部会委員、倒産法部会委員（～2001年 1 月）

- 1999年4月 日仏法学会 理事
- 1999年8月 日本さい帯血バンクネットワーク 副会長→会長（～2008年3月）
- 2001年1月 法制審議会 臨時委員（法人制度部会、倒産法部会、担保・執行法制部会、国際私法（現代化関係）部会、不動産登記法部会長、動産・債権担保法制部会長、人名用漢字部会長、保険法部会、民法成年年齢部会長、民法（債権関係）部会長）（～2015年3月）
- 2001年1月 薬事・食品衛生審議会 臨時委員（薬事分科会）（～2003年1月）
- 2001年8月 Académie de Paris 交換研究員（パリ第1大学・第2大学、～2003年3月）
- 2003年5月 最高裁判所 司法修習委員会 委員（～2015年7月）
- 2003年10月 日本私法学会 理事（～2005年10月）
- 2004年4月 早稲田大学大学院法務研究科 教授
- 2004年4月 森・濱田松本法律事務所 客員弁護士
- 2005年4月 早稲田大学大学院法務研究科 研究科長（～2010年9月）
- 2005年4月 東京都収用委員会 委員（2009年7月 会長代理）（～2011年3月）
- 2005年6月 中央教育審議会 専門委員（大学分科会法科大学院特別委員会）
- 2005年7月 国土交通省 土地鑑定委員会 委員長（～2014年7月）
- 2005年12月 （財）知的財産研究所 客員研究員
- 2006年10月 民法（債権法）改正検討委員会 委員長（～2009年3月）
- 2007年4月 早稲田大学法務教育研究センター 所長（～2010年9月）
- 2008年7月 カンボディア王国 Sahametrei 勲章オフィシエ
- 2010年11月 早稲田大学 総長、早稲田大学校友会 会長
- 2011年2月 科学技術・学術審議会 委員
- 2011年4月 法科大学院協会 理事長（～2017年6月）
- 2011年4月 原子力損害賠償紛争審査会 委員（2016年6月 会長）
- 2012年2月 高麗大学校 名誉法学博士
- 2012年4月 大学設置・学校法人審議会 特別委員（大学設置分科会）
- 2012年8月 法曹養成制度検討会議 委員（座長代理）（～2013年8月）
- 2013年1月 教育再生実行会議 座長
- 2015年3月 宇宙政策委員会 臨時委員（宇宙産業・科学技術基盤部会 部会長代理、同部会宇宙法制小委員会 委員長）（～2016年3月）
- 2015年4月 日中韓大学間交流・連携推進会議 委員（共同座長）
- 2015年5月 原子力委員会 専門委員（原子力損害賠償制度専門部会 部会長代理）
- 2015年7月 フランス共和国レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ
- 2016年6月 （一社）日本私立大学連盟 会長
- 2016年6月 日本私立大学団体連合会 会長
- 2016年7月 全私学連合 代表
- 2016年9月 地方創生インターンシップ推進会議 座長

2016年9月 北京大学 名誉博士

2017年2月 地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議 委員

2017年9月 人生100年時代構想会議 委員

## 鎌田 薫教授・主要業績目録

### I 著書・編書

- 『口語物権法』（篠塚昭次・月岡利男らと共著，自由国民社，1976年，全訂版1981年，改訂増補版1986年，全訂版1990年）
- 『民法（親族・相続）』（余暇創造センター、1978年）
- 『民法（総則・物権・債権）』（日本行政書士学院，1978年）
- 『Enquête sur la transmission héréditaire des fonds agricoles dans l'exploitation familiale en France.』（稲本洋之助・原田純孝と共著，東京大学社会科学研究所，1980年）
- 『分析と展開 民法Ⅰ・Ⅱ』（山田卓生・野村豊弘・円谷峻・新美育文・岡孝・池田真朗と共著，弘文堂，1982年・1986年，第2版Ⅱ1989年・Ⅰ1997年，第2版増補Ⅰ2000年，第3版Ⅱ1998年・Ⅰ2004年，第4版Ⅱ2003年，第5版Ⅱ2005年）
- 『基本問題セミナー 民法1・3』（川井健と共編著，一粒社、1987年・1990年）
- 『宅地建物取引六法―法令条文つき解説書』（稲本洋之助と共編著，有斐閣，1987年，第2版，1989年）
- 『民法Ⅱ 物権（有斐閣Sシリーズ）』（淡路剛久・原田純孝・生熊長幸と共著，有斐閣，1987年，第2版1994年，第2版補訂2003年，第3版2005年，第3版補訂2010年，第4版2017年）
- 『目で見る民法教材』（淡路剛久・池田真朗・泉久雄・岩城謙二・國井和郎・下森定と共編著，有斐閣，1988年，第2版1994年，第2版増補2000年，第2版補訂2版2001年）
- 『民法ノート 物権法①』（日本評論社，初版1992年，第2版2001年，第3版2007年）
- 『デシリ―六法』（共編，三省堂，1992年～（2007年～編修代表））
- 『親族法・相続法（現代青林講義）』（川井健と共編著，青林書院，1994年）
- 『民法総則（現代青林講義）』（川井健と共編）（青林書院，1994年）
- 『知的財産担保の理論と実務（IIP研究論集2）』（編著，信山社、1997年）
- 『岩波講座・現代の法（全15巻）』（田中成明ほかと共編著，岩波書店，1997年）
- 『新不動産登記講座 第1巻～第7巻』（寺田逸郎・小池信行と共編著，日本評論社，1998年～2000年）
- 『債権総論（現代青林講義）』（川井健と共編）（青林書院，1999年）
- 『民法トリアル教室』（磯村保・河上正二・中舎寛樹と共著，有斐閣，1999年）
- 『民法学説百年史』（加藤雅信・池田真朗・大村敦志・道垣内弘人・水野紀子・山本敬三と共編，三省堂，1999年）
- 『新判例マニュアル・民法Ⅰ～Ⅴ』（川井健ほかと共編）（三省堂，2000年）
- 『物権法・担保物権法（現代青林講義）』（川井健と共編著，青林書院，2000年）
- 『現代の都市と土地私法』（浦川道太郎・内田勝一と共編，有斐閣，2001年）

- 『ロースクールを考える——21世紀の法曹養成と法学教育』(角紀代恵・新見育文・鈴木重勝らと共著, 成文堂, 2002年)
- 『基本法コンメンタール [第5版] 物権』(遠藤浩と共編, 日本評論社, 2002年)
- 『担保制度の現代的展開 (伊藤進先生古稀記念論文集)』(堀龍児・池田眞朗・新美育文・中舎寛樹と共編, 日本評論社, 2006年)
- 『民法 I・II・III』(加藤新太郎・須藤典明・中田裕康・三木浩一・大村敦志と共編, 日本評論社, 初版2005年, 第2版2010年)
- 『法学講義民法2 物権』(奥田昌道と共編, 悠々社, 2005年)
- 『法学講義民法3 担保物権』(奥田昌道と共編, 悠々社, 2006年)
- 『立法学講義』(大森政輔と共編, 商事法務, 2006年, 補遺版2011年)
- 『不動産取引判例百選 [第3版]』(安永正昭・山野日章夫と共編, 有斐閣, 2008年)
- 『新基本法コンメンタール 不動産登記法』(寺田逸郎と共編, 日本評論社, 2010年)
- 『災害に強い社会をつくるために——科学者の役割・大学の使命 (早稲田大学ブックレット「震災後」に考える22)』(浦野正樹・岡芳明・鈴木興太郎・濱田政則と共著, 早稲田大学出版部, 2012年)

## II 論文・学会報告・解説等

- 「フランス不動産譲渡法の史的考察 (1)～(4・完)」民商法雑誌66巻3号～6号 (1972年)
- 「日あたり条例の考え方」(篠塚昭次・浦川道太郎と分担執筆) ジュリスト529号 (1973年)
- 「日照問題と日あたり条例」ジュリスト増刊38『日照権』(1974年)
- 「フランスの土地公示制度」香川保一・編『不動産登記の諸問題・上』(帝国判例法規, 1974年)
- 「不動産二重売買における第二買主の悪意と取引の安全——フランスにおける判例の『転換』をめぐる」比較法学9巻2号 (1974年)
- 「94条2項の類推適用」水本浩＝高木多喜男・編『民法300題』有斐閣 (1975年)
- 「登記の公信力」幾代通＝好美清光・編『不動産登記の法律相談』(有斐閣, 1976年)
- 「フランスにおける土地法の改革について」地域開発1976年8月号
- 「意思表示による物権変動」「背信的悪意者」石田喜久夫編『判例と学説2・民法I』(日本評論社, 1977年)
- 「登記がなければ対抗できない物権変動」篠塚昭次編『判例コンメンタール3 民法I (総則・物権)』三省堂 (1977年)
- 「不動産登記の効力に関する一考察」(学会報告) 私法 (日本私法学会) 40号 (1978年)
- 「フランスにおける所有権の自由とその制限」(学会報告) 日本土地法学会『土地所有権の比較法的研究 (土地問題双書9)』(有斐閣, 1978年)
- 「更正登記について」司法の窓50号 (1978年)

- 「相隣関係」ほか5項目 稲本洋之助＝真砂泰輔・編『土地法の基礎』青林書院新社（1978年）
- 「質権の法的性質とその効力」銀行研修78巻3号（1978年）
- 「『二重譲渡』の法的構成」『民法の争点』（有斐閣，1978年，1985年，2007年）
- 「取得時効と登記」法学セミナー1979年10月
- 「法律行為の取り消しと登記」The Law School 25号（1980年）
- 「土地法学の課題（特集・法律学の課題と展望）」ジュリスト731号（1981年）
- 「フランスにおける不動産取引と公証人の役割——『フランス法主義』の理解のために（1）（2）」早稲田法学56巻1号・2号（1981年）
- 「法定上限密度 P. L. D.」日本不動産研究所『フランスの土地利用制度と運用の実態——土地利用調整のための規制誘導手法』（1981年）
- 「フランスにおける家族農業経営資産の相続——1978～80年実態調査中間報告」（稲本洋之助・原田純孝と共著）社会科学研究（東大社研）33巻5号（1981年）
- 「ヨーロッパの農家相続：フランスと西ドイツの実態調査」（学会報告）（利谷信義＝広渡清吾＝田山輝明＝稲本洋之助＝原田純孝＝鎌田薫）年報（日本法社会学会）34号（1982年）
- 「Research on succession to agricultural assets in Europe (interim report)」（利谷信義＝稲本洋之助＝渡辺洋三＝原田純孝＝鎌田薫＝田山輝明＝Jungnickel＝広渡清吾）Annals of the social science, special issue.（1982年）
- 「物権の変動・序説」「不動産物権の変動」篠塚昭次＝川井健・編『講義 物権法・担保物権法』青林書院新社（1982年）
- 「フランスの公証制度と公証人」（学会報告）公証法学11号（1982年）
- 「フランスの住居法制——住宅資金援助制度を中心に」ジュリスト増刊総合特集30『現代日本の住宅改革』（1983年）
- 「都市計画・土地利用規制法制の論理と構造」渡辺洋三＝稲本洋之助編『現代土地法の研究（下）——ヨーロッパの土地法』（岩波書店，1983年）
- 「都市計画の体系」「土地占用プラン」「建築認可」ほか7項目 稲本洋之助＝戒能通厚＝田山輝明＝原田純孝・編『ヨーロッパの土地法制—フランス・イギリス・西ドイツ』（東京大学出版会，1983年）
- 「不動産取引法の再検討」（学会報告）日本土地法学会編『不動産取引法・環境法の再検討（土地問題双書18）』（有斐閣，1983年）
- 「フランスの公証人——紛争予防機能を中心に」法セミ増刊・総合特集『市民のための法律家』法セミ増刊24・総合特集『市民のための法律家』（1983年）
- 「市街地の高度利用と環境——土地所有権論との関連で」（学会報告）日本都市計画学会『第7回都市計画シンポジウム論文集』（1984年）
- 「物権行為」ほか11項目 伊藤正己ほか・編『国民法律百科大辞典』（ぎょうせい，1984年）

- 「対抗問題と第三者」星野英一編集代表『民法講座 2』(有斐閣, 1984年)
- 「第一条 登記する事項」遠藤浩＝青山正明・編『基本法コンメンタル・不動産登記法』別冊法学セミナー (日本評論社, 1984年～第 4 版補訂1998年)
- 「相続と登記」星野英一・編『判例に学ぶ民法』(有斐閣, 1994年)
- 「農家相続における自立と引退——フランスの農家相続 その 3」社会科学研究 (東大社研) 37巻 1 号 (1985年)
- 「占有の訴えと本件の訴え」ほか 4 項目 遠藤浩＝福田平ほか・編『法令解釈事典』(ぎょうせい, 1986年)
- 「不動産取引における司法書士の役割」月報司法書士 (日本司法書士会連合会) 174号 (1986年) / 日本司法書士会連合会『司法書士100講』13 (日本司法書士会連合会, 1987年) 所収
- 「通謀虚偽表示」「物権変動の時期」川井健＝鎌田薫・編『基本問題セミナー民法 1 総則・物権法』(一粒社, 1987年)
- 「94条 2 項の類推適用——虚偽の登記を真実と誤信した者の保護」田山輝明・編『民法演習 (1) 民法総則』成文堂 (1987年)
- 「不動産物権変動の理論と登記手続の実務——日本的『フランス法主義』の特質」民事研修 (法務省法務総合研究所) 360号 (1987年) / 法務総合研究所編『不動産登記をめぐる今日の課題——不動産登記制度100周年記念論文集』(日本加除出版, 1987年)
- 『「底地買い」の法律問題』ジュリスト891号 (1987年)
- 「土地家屋調査士委嘱契約の法的性質——委任か請負か (1) ～ (4)」土地家屋調査士 (日本土地家屋調査士会連合会) 370号 (1987年)・372号・373号・374号 (1988年)
- 「利息制限法とサラ金問題」ジュリスト900号『法律事件百選——これらの事件が戦後史を語る』(1988年)
- 「演習・不動産登記法」法学教室91号～103号・105号・107号・109号・111号・113号 (1988年～1990年)
- 「土地家屋調査士の業務と民事責任 (1) ～ (11)」土地家屋調査士 (日本土地家屋調査士会連合会) 376号・377号・379号・380号・381号・383号・384号 (1988年) 389号・394号 (1989年) 397号 (1991年)
- 「他人物売買」法学セミナー1988年 8 月号
- 「不動産取引と第三者の保護 (1) ——対抗問題と公信問題の区別」法学セミナー1988年11月号
- 「登記代理と原因証書をめぐる諸問題」(講演) 全青司山形大会報告書 (1988年)
- 「不動産登記法を考える」市民と司法書士 6 号 (1988年)
- 「大深度地下の公的利用と土地所有権 (上)・(中)・(中の 2)・(下)」NBL412号・414号・423号・424号 (1988年～1989年)
- 「不動産取引と第三者の保護 (2) ——「取消と登記」の問題を中心に」法学セミナー1989年 1 月号

- 「大深度地下空間の公共的利用に関する立法論の動向」原田純孝編『現代都市開発法制と都市居住環境の形成・整備に関する比較総合的研究（昭和63年度文部省科研費研究成果報告書）』（1989年）
- 「登記原因と登記原因証書」日本司法書士会連合会・編『市民社会と法をめぐる今日の課題〔平成元年版〕』（民事法情報センター，1989年）
- 「学説と実務」法律時報61巻5号（1989年）
- 「土地家屋調査士の業務と民事責任（1）（2）」東京土地家屋調査士会報368号・369号（1989年）
- 「債権者代位権」法学セミナー1989年5月号
- 「売買代金債権確保の方法」法学セミナー1989年8月号
- 「借地関係における正当事由の判断要素の明確化」（山田伸直と共著）ジュリスト939号（1989年）
- 「借家権とその鑑定評価——民法学の立場から、立退料を中心に」仙台弁護士会『弁護士研修会講演録・第1巻』（1989年）
- 「不動産物権変動（1）（2）（3）」法学教室1989年10月号～12月号
- 「フランスの農業者年金（上）（下）」のうねん（農業者年金基金）105号・106号（1989年）
- 「登記電算化後の真正担保と司法書士の賠償責任について」（講演）会報大阪（大阪司法書士会）12号（1990年）
- 「司法書士の登記申請にかかわる注意義務（上）（下）」月刊登記先例解説集30巻2号・4号（1990年）
- 「遺産共有」川井健＝鎌田薫・編『基本問題セミナー民法3 親族・相続法』（一粒社，1990年）
- 「営業秘密の保護と民法」ジュリスト962号（1990年）
- 「『財産的情報』の保護と差止請求権（1）～（6）——不正競争防止法改正案と民法理論」L & T (Law & Technology) 7号～12号（1990年～1991年）
- 「投機的取引の抑制」本間義人＝五十嵐敬喜＝原田純孝編『土地基本法を読む』（日本経済評論社，1990年）
- 「賃料債権に対する抵当権者の物上代位」石田喜久夫・西原道夫・高木多喜男先生還暦記念論文集（下）『金融法の課題と展望』（日本評論社，1990年）
- 「土地家屋調査士の業務と損害賠償」（講演）京都土地家屋調査士会『土地家屋調査士法制定40周年記念冊子』（1990年）
- 「条文からスタート（民法）権利変動と第三者対抗要件〔176条・177条・178条・467条〕」法学教室1992年4月号
- 「相続と登記（判例に学ぶ民法）」法学教室1992年5月号
- 「営業秘密の保護」判例タイムズ793号（1992年）
- 「公共団体による『土地活動』——公的土地取得」原田純孝＝広渡清吾＝吉田克己＝戒



- 能通厚＝渡辺俊一・編『現代の都市法』(東京大学出版会, 1993年)
- 「抵当権の侵害と明渡請求」田山輝明ほか編『民法学の新たな展開 (高島平蔵教授古稀記念)』(成文堂, 1993年)
- 『土地家屋調査士・司法書士の業務と民事責任』(講演) 福井県土地家屋調査士会・福井県司法書士会 (1993年)
- 「不動産の附合」法学教室1993年7月号
- 「土地家屋調査士の責任」川井健編『専門家の責任』(日本評論社, 1993年)
- 「債権を目的とする担保——代理受領・振込指定・債権譲渡担保・債権質」法学教室1993年11月号
- 「製造物責任——製造物責任立法の提案をめぐる」法学教室1994年3月号
- 「知的財産訴訟における損害賠償法理」特許研究17号 (1994年)
- 「求償と代位——最近の最高裁判例を中心に」法学教室1994年7月号
- 「製造物責任法と被害の救済」国民生活 (国民生活センター) 1994年8月号
- 「フランスにおける専門家の責任 (上)・(下)」NBL551号・553号 (1994年)
- 「相続と登記」星野英一・編『判例に学ぶ民法』(有斐閣, 1994年)
- 「わが国における専門家責任の実情」別冊 NBL28号 (1994年)
- 「共同所有——共有物の利用関係を中心に」法学教室1994年12月号
- 「抵当権の効力——『価値権』論の意義と限界」(講演) 司法研修所論集91号 (1994年)
- 「いわゆる『相対的無効』について——フランス法を中心に (上)・(下)」法律時報67巻4号・7号 (1995年) / 椿寿夫編『法律行為無効の研究』(日本評論社, 2001年)
- 「知的財産紛争と保険」知財管理 (日本知的財産協会) 45巻4号 (1995年)
- 「欠陥 (特集・製造物責任法)」判例タイムズ862号 (1995年)
- 「借地借家法と短期賃貸借」銀行法務21・511号 (1995年)
- 「抵当権 (その2)」(学会報告) 別冊 NBL31号 (椿寿夫編『担保法理の現状と課題』, 1995年)
- 「フランスにおける HIV 感染事故の被害者救済と安全対策 (上)」ジュリスト1097号 (1996年)
- 「知的財産担保の法的諸問題」(分担執筆) 金融法学会『金融法研究・資料編』12号 (1996年)
- 「建物滅失後の借地権の対抗力」(澤野和博と共著) 澤野順彦＝丸山英気＝内田勝一・編『借地借家法の理論と実務』(有斐閣, 1997年)
- 「『消費者法』の意義と課題」鎌田薫＝来生新・編『岩波講座 現代の法13 消費生活と法』(1997年)
- 「知的財産担保の意義と課題」鎌田薫・編『知的財産担保の理論と実務』(信山社, 1997年)
- 「専門家責任の基本構造」山田卓生＝加藤雅信・編『新・現代損害賠償法講座3 製造物責任・専門家責任』(日本評論社, 1997年)

- 「抵当権の効力について——賃料債権に対する物上代位を中心に」リーガルマインド（医薬品企業法務研究会）158号（1997年）
- 「法務省論点のどこに問題があるのか（論争／「定期借家権」導入積極派への反論②）」論争 東洋経済10号（1997年）
- 「不動産登記制度の基本原則」鎌田薫＝寺田逸郎＝小池信行編『新不動産登記講座・第1巻 総論 I』（日本評論社、1998年）
- 「財——総論（特集・民法100年 新時代の民法を展望する）」ジュリスト1126号（1998年）
- 「外国における最近の改革——フランス」（日本輸血学会関東甲信越支部会第4回輸血懇談会「輸血制度の今後の課題と展望」）日本輸血学会雑誌44巻1号（1998年）
- 「Report on Informed Consent in Blood Transfusions (International Forum: Japan)」(Hitoshi Ota, Takanori Ueda, Kaoru Kamata, Michio Kaminishi, Tetsuji Shibata, Hiroo Maeda, Masaru Shimizu) Transfusion Science (Elsevier Science Ltd.) 19巻3号（1998年）
- 「特許権侵害と損害賠償——工業所有権審議会答申と特許法改正案について」CIPIC ジャーナル79号（1998年）
- 「生活の視点・PL法施行三年目に思うこと」国民生活28巻6号（1998年）
- 「フランスにおける血液行政の動向および輸血事故の責任——HIV感染事故の被害者救済と安全対策」法律科学研究所年報（明治学院大学）14号（1998年）
- 「財産権移転型契約」別冊NBL51号『債権法改正の課題と方向——民法100周年を契機として』（1998年）
- 「フランスにおける輸血とインフォームド・コンセント」『輸血説明・同意書の調査研究（平成9年度輸血関係情報調査事業報告書）』（1998年）
- 「製造上の欠陥、設計上の欠陥、警告上の欠陥」（山口齊昭と共著）升田純・編『製造物責任（現代裁判法大系8）』（1998年）
- 「司法書士の登記申請業務にかかわる損害賠償責任」三井海上火災保険（株）企業損害調査部賠償・保証保険課『司法書士賠償責任保険事故例集』（1998年）
- 「借地関係と担保」（澤野和博と共著）稲葉威雄＝内田勝一＝澤野順彦＝田尾桃二＝寺田逸郎＝水本浩・編『新借地借家法講座2』（日本評論社、1999年）
- 「フランスの製造物責任」別冊NBL53号（加藤雅信・編『製造物責任の現在』1999年）
- 「平成10年及び平成11年における特許法改正の内容について（講演）」CIPIC ジャーナル105号（2000年）
- 「本研究の目的と構成」NIRA 政策研究13巻11号（高橋宏志ほか『不適切な行為の差止めのための民事法的手法の研究』（2000年）
- 「法科大学院構想と私法教育」NBL691号（2000年）
- 「地籍問題と土地家屋調査士の社会的役割」土地家屋調査士522号（2000年）
- 「倒産法における物的担保権の処遇——民法学の立場から」（学会報告）民事訴訟雑誌46

号 (2000年)

「大深度地下利用と土地所有権」内田勝一＝浦川道太郎＝鎌田薫・編『現代の都市と土地私法』(有斐閣, 2001年)

「物権変動の理論と不動産登記手続 (日韓パートナーシップ研修講義)」登記研究646号 (2001年)

「土地家屋調査士の責任」川井健＝塩崎勤・編『新・裁判実務大系 8 ―専門家責任訴訟法』(青林書院, 2004年)

「対抗問題と公示」知的財産研究所『知的財産に関するライセンス契約の適切な保護の調査・研究報告書』(2004年)

「ライセンス契約の対抗と公示」知的財産研究所・編『知的財産ライセンス契約の保護―ライセンサーの破産の場合を中心に』(雄松堂出版, 2004年)

「不動産登記法改正の意義」別冊 NBL103号『新不動産登記法の解説と申請様式』(2005年)

「留置権」(高見進・須藤典明と共著)加藤新太郎ほか編『民事法Ⅱ』(日本評論社, 2005年)

「『動産・債権譲渡に係る公示制度の整備に関する要綱』の概要と主要な論点」(学会報告)金融法研究21号 (2005年)

「立法学の意義と内容」大森政輔＝鎌田薫・編『立法学講義』((株)商事法務, 2006年)

「各倒産手続と(動産)先取特権」櫻井孝一＝加藤哲夫＝西口元・編『倒産処理法制の理論と実務』(経済法令研究会, 2006年)

「ドナーの安全性確保―法律問題」血液・腫瘍科(科学評論社)55号 sup.5『造血幹細胞移植のすべて』(2007年)

「法曹養成制度改革の現状と課題」(講演)司法研修所論集117号 (2008年)

「付随的義務の不履行と契約解除」(白石大と共著)塩野勤＝澤野順彦＝齋藤隆・編『不動産関係訴訟(専門訴訟講座5)』(民事法研究会, 2010年)

「地籍と法制度」(講演)土地家屋調査士全国大会 in Tokyo 記録誌『地籍 その可能性を探る』(2011年)

「当然対抗制度と民法理論」(学会報告)日本工業所有権法学会年報35号 (2012年)

### Ⅲ 判例研究・判例解説

「慣習法上の物権」ほか25項目 水本浩＝島津一郎・編『判例ノート民法』法学書院 (1975年)

「二重売買における買主の注意義務―破毀院第3民事部1979年5月28日判決(フランス判例研究11)」判例タイムズ422号 (1980年)

「1980年主要判例解説(民法)」法学セミナー313号 (1981年)

「駐車場専用使用権分譲特約の有効性―最高裁(二小)昭和56年1月30日判決を中心として」ジュリスト739号 (1981年)

- 「住宅公団の『10年後譲渡』契約と借家人（東京地判昭和55年10月16日判時980号20頁）」  
判例時報1004号（1981年）
- 「帰責事由の立証責任」ほか9項目 好美清光・編『基本判例双書 民法〔債権〕』同文館  
（1982年）
- 「大阪空港大法廷判決をふりかえって」（座談会 淡路剛久＝國井和郎＝井上治典＝鎌田  
薫＝滝沢正＝野村豊弘＝畠山武道）判例タイムズ469号（1982年）
- 「詐欺における善意の第三者の登記の必要性」別冊ジュリスト『民法判例百選Ⅰ 総則・  
物権』（第2版1982年，第3版1989年，第4版1996年，第5版2001年，第6版2009年）
- 「不動産売買契約の成否（東京地判昭和57・2・17判時1049号55頁）」「民法94条2項の  
第三者の範囲（最三小判昭和57年6月8日判タ475号66頁）」「境界不明地の時効取得  
と登記（宮崎地判昭和57年4月19日判タ476号135頁）」「不動産の附合—公有水面を埋  
め立てるために投入された土砂の帰属（最一小判昭和57年6月17日民集36巻5号824  
頁）」判例タイムズ484号（1983年）
- 「土地の仮装譲渡と建物の賃借人（最三小判昭和57年6月8日判時1049号36頁）」判例時  
報1085号（1983年）
- 「未登記不動産の時効取得と民法一七七条（最一判昭和57年2月18日判タ465号102頁）」  
判例タイムズ505号『昭和57年度民事主要判例解説』（1983年）
- 「背信的悪意者排除論の相対的適用（東京高判昭57・8・31判時1055-47）」「指図による  
占有移転と善意取得（最三判昭57・9・7民集36-8-1527）」「清算金請求権と留置権  
の成否（最一判昭58・3・31判タ497-100）」法学セミナー1984年3月号（1983年主要  
判例解説・民法）
- 「債務者の破産宣告と動産売買先取特権の物上代位——最高裁昭和59年2月2日第一小  
法廷判決をめぐって（座談会）」（堀龍兒＝小林秀之＝森井英雄＝加藤雅信＝鎌田薫）  
判例タイムズ529号（1984年）
- 「建築工事の一括下請と建物所有権の帰属（東京地判昭57.7.9判タ479-124、東京高判昭  
58.7.28判時1087-67）」「自動車学校建築用地の賃貸借と借地法の適用（最判昭58.9.9  
判タ509-119）」判例タイムズ522号（1984年）
- 「借地法4条・6条の正当事由——戦後判例の総合的検討」（山田伸直と共著）ジュリス  
ト828号（1985年）
- 「登記請求権—中間省略登記請求権を中心として」『判例研究（昭和59年度版）』（東京司  
法書士会，1985年）
- 「債務者が破産宣告を受けた場合と先取特権者の物上代位権（最一判昭59年2月2日民  
集38巻3号431頁）」法学セミナー1985年3月号（1984年主要判例解説・民法）
- 「生命保険付き住宅ローンの法律関係（大阪高判昭59・4・18、福岡高裁宮崎支判昭  
59・12・26）」判例タイムズ558号（1985年）
- 「解除条件付売買契約に基づく占有の性質（最一判昭60・3・28判時1168号56頁）」「物  
上代位と差押（最二判昭60・7・19判時1168号60頁）」法学セミナー1986年3月号

(1985年主要判例解説・民法)

「売渡承諾書の交付と売買契約の成否 (東京地判昭59.12.12判タ548-159)」ジュリスト  
857号 (1986年)

「民法177条と背信的悪意者」別冊法学教室『民法の基本判例』(有斐閣, 1986年)

「民法53条違反の行為と相手方の保護 (最二判昭60・11・29判タ578号66頁)」法学セ  
ミナー1986年5月号

「権利能力なき社団がなした代表者名義の登記の対第三者効 (東京地判昭59・1・29判  
タ523号177頁)」法学セミナー1986年6月号

「詐欺的短期賃貸借の解除と抵当権者から賃借人に対する明渡請求の可否 (浦和地判昭  
59・12・26判時1168号114頁, 東京高判昭60・8・27判時1163号62頁)」法学セミナー  
1986年7月号

「代位弁済者による原債権の行使と求償権 (最一判昭61・2・20判タ592号71頁)」法学  
セミナー1986年8月号

「仮登記担保の目的物件の第三取得者と被担保債権の消滅時効の援用 (最三判昭60・  
11・26民集39巻7号1701頁)」法学セミナー1986年9月号

「解除条件付き売買契約に基づく買主の占有と時効取得 (最判昭60.3.28金商730号3  
頁)」判例タイムズ613号 (1986年)

「権利能力なき社団の提起した第三者異議訴訟において, 右社団は, 代表者個人名義に  
登記された社団所有不動産につき, その所有権を第三者に対抗できるとされた事例  
(東京地判昭59.1.19判時1125-129)」判例評論335号 (判例時報1212号) (1987年)

「所在地番を誤った建物登記と建物保護法1条所定の対抗力 (東京高判昭61.4.28)」法学  
セミナー1987年1月号

「譲渡担保権者による代位弁済と被担保債権の範囲 (最三判昭61.7.15)」法学セミナー  
1987年2月号

「判例回顧と展望 (座談会)」(石川才顯=伊藤眞=鎌田薫=杉原泰雄=角田邦重=浜川  
清) 法律時報59巻4号 (1987年)

「裁判例の概観 (民法判例レビュー・不動産)」「所在地番等を誤って表示した建物登記  
と建物保護法1条所定の対抗力 (東京高判昭61・4・28)」「仮登記の効力 (東京地判  
昭60・6・28, 東京高判昭60・12・26)」判例タイムズ628号 (1987年)

「賭場開帳資金の貸与と公序良俗違反・不法原因給付 (最一判昭61.9.4)」法学セミナー  
1987年4月号

「民法94条2項の適用ないし類推適用と対抗問題 (最三判昭61. 11. 18)」法学セミナー  
1987年6月号

「準消費貸借契約上の債務と旧債務の同一性 (最二判昭62. 2. 13)」法学セミナー1987年  
8月号

「物権的妨害予防請求権と費用負担 (横浜地判昭61. 2.21判タ638-174)」法学セミナー  
1987年10月号

- 「既登録自動車と善意取得（最二判昭62.4.24判時1243-24）」法学セミナー1987年12月号
- 「集合動産譲渡担保と動産売買先取特権の競合関係（最三判昭87.11.10判例集未登載）」法学セミナー1988年2月号
- 「判例回顧と展望1987」（座談会、伊藤眞＝鎌田薫＝杉原泰雄＝角田邦重＝浜川清＝村井敏邦）法律時報1988年3月号
- 「債権譲渡が詐害行為として取り消された場合の法律関係（東京高判昭61.11.17判タ641-128）」法学セミナー1988年4月号
- 「賃借権の時効取得（最二判昭62・6・5）」判例タイムズ667号（1988年）
- 「区分所有建物の老朽化と建替え——区分所有法による建替え決議の問題点」（山田伸直と共著）ジュリスト927号（1989年）
- 「判例回顧と展望1988（座談会）」（清水睦＝梅本吉彦＝奥島孝康＝鎌田薫＝角田邦重＝浜川清＝村井敏邦）法律時報1989年3月号
- 「共有者の一部の者から共有物の占有使用を承認された第三者に対する明渡請求の可否（最二小判昭和63年5月20日・判時1277号116頁ほか）」ジュリスト臨時増刊『昭和63年度重要判例解説』（1989年）
- 「日本ワイズ vs. 日本ケミファ事件判決の検討」（座談会 鎌田薫＝円谷峻＝末吉亙＝中津晴弘＝山本豊）Law & Technology 3号（1989年）
- 「今期の主な裁判例（民法判例レビュー25不動産）」「共同賃借人相互間での妨害排除請求（東京地判昭63・2・26判時1291-75）」判例タイムズ698号（1989年）
- 「代位登記の判例理論と登記実務上の諸問題」（関口高史＝鎌田薫）会報・司法の窓（東京司法書士会）74号（1990年）
- 「前期の主な裁判例（民法判例レビュー31不動産）」判例タイムズ743号（1991年）
- 「抵当不動産について供託された賃料の還付請求権と抵当権の物上代位（最二小判平成元年10月27日民集43-9-1070）」法律時報別冊『私法判例リマークス1991上』（1991年）
- 「登記申請意思の欠缺と登記の効力」『判例研究・平成2年度版』（東京司法書士会，1991年）
- 「供託賃料に対する抵当権者の物上代位（最二判平1.10.27民集43-9-1070）」法律時報63巻6号（1991年）
- 「最近の担保判例とその評価（その1）～（その3）」（伊藤進＝甲斐道太郎＝賀集唱＝鎌田薫＝國井和郎＝椿寿夫＝鳥谷部茂＝堀龍兒＝山野目章夫）法律時報63巻7号～9号（1991年）
- 「不動産の順次移転と中間省略登記請求の可否（最判昭40・9・21民集19-6-1560）」別冊ジュリスト『不動産取引判例百選〔第2版〕』（1991年）
- 「手形割引契約の準備段階における責任（大阪地判平成2年10月12日）」旬刊金融法務事情増刊1304号（金融法学会編「金融判例研究1号」，1991年）
- 「今期の主な裁判例（民法判例レビュー35・不動産）」「分筆による登記の重複を理由と

- する表示登記の抹消請求の可否 (大阪地判平成2.6.29判時1386号133頁)」判例タイムズ771号 (1992年)
- 「機密資料の開発者による一時持出しと横領罪 (新潟鉄鋼事件、東京高判昭60・12・4)」『小野昌延先生還暦記念・判例不正競争法』(発明協会、1992年)
- 「二重登記における先行登記名義人の後行登記抹消請求の可否 (最一小判平成3年7月18日判時1395号63頁)」法律時報別冊『私法判例リマークス1992下』(1992年)
- 「瑕疵担保による損害賠償請求権の除斥期間と裁判上の権利行使の要否—商人間の売買において目的物に瑕疵があった場合の損害賠償請求権の行使期間の制限と権利保存の方法 (最判平4・10・20民集46-7-1129)」NBL516号 (1993年)
- 「民法五六六条三項にいう一年の期間の性質と権利保存の方法 (最三小判平成4・10・20民集46-7-1129)」ジュリスト臨時増刊『平成4年度重要判例解説』(1993年)
- 「共有物分割請求権者が多数の場合における一部分割の可否 (最二小判平成4・1・24判時1424-54)」法律時報別冊『私法判例リマークス1993下』(1993年)
- 「目的物全部が同一物上保証人に属する共同抵当権の一部放棄と後順位抵当権者の代位 (最二小判平成4.11.6民集46-8-2623)」旬刊金融法務事情1364号 (金融法学会・編『金融判例研究3号』) (1993年)
- 「今期の主な裁判例 (民法判例レビュー・不動産42)」 「共有物分割と持分上の抵当権の帰趨 (大阪地判平成4・4・24判時1449-115)」判例タイムズ824号 (1993年)
- 「元本確定後の弁済猶予 (回収新規) と根抵当権の消滅 (大分地判平成4・10・22金法1352-80)」(小粥太郎と分担執筆)ジュリスト1040号 (1994年)
- 「一部共有者の同意なく設定された共有物抵当権の効力 (最判昭和42・2・23金法472-35)」ジュリスト増刊『担保法の判例I』(1994年)
- 「一括下請負人が材料を提供して築造した未完成建物の所有権の帰属 (最判平5・10・19民集47-8-5061)」NBL549号 (1994年)
- 「共同根抵当建物の再築と法定地上権 (大阪高決平5・6・11判時1465-91)」法律時報別冊『私法判例リマークス1994下』(1994年)
- 「今期の主要な裁判例 (民法判例レビュー・不動産46)」 「仮登記仮処分が発令の要件 (東京高決平5・11・26判タ837-267)」判例タイムズ855号 (1994年)
- 「建物譲渡後も登記名義を保有する譲渡人に対する建物収去・土地明渡請求 (最判平6・2・8民集48-2-373)」ジュリスト臨時増刊『平成6年度重要判例解説』(1995年)
- 「平成4年の重要判例をふり返って」(座談会 上原敏夫=大江忠=加藤新太郎=鎌田薫=川井健=田尾桃二=円谷峻=出口正義=秦光昭=松村弓彦=宮廻美明=山下友信=山本豊)「瑕疵担保による損害賠償請求権の除斥期間と裁判上の権利行使の要否 (最判平4・10・20民集46-7-1129)」別冊NBL30号『実務取引法判例〔平成4年〕』所収 (1995年)
- 「信販会社の過剰与信による債務減額 (釧路簡判平成6.3.16判タ842-89)」別冊ジュリス



- ト135号『消費者取引判例百選』(1995年)
- 「転貸料債権に対する抵当権者の物上代位 ((a) 東京高決平7・3・17、(b) 大阪高決平7・5・29、(c) 大阪高決平7・6・20)」法律時報別冊『私法判例リマークス1996下』(1996年)
- 「今期の主な裁判例(民法判例レビュー・不動産55)」判例タイムズ924号(1997年)
- 「平成五年の判例をふりかえって」(座談会 上原敏夫＝川井健＝鎌田薫ほか)、「債権譲渡通知の到達時の先後不明と供託金還付請求権の帰属(最三判平5・3・30民集47巻4号3334頁)」,「一括請負人が材料を提供して築造した未完成建物の所有権の帰属(最三判平5・10・19民集47巻8号5016頁)」別冊NBL『実務取引法判例(平成5年)』(1997年)
- 「抵当不動産について将来発生する賃料債権の譲渡と抵当権に基づく物上代位の競合(東京高判平成9年2月20日・金法1477号45頁)」旬刊金融法務事情増刊1492号(金融法学会・編『金融判例研究7号』1997年)
- 「表示に関する登記につき根抵当権者による抹消登記手続請求を認めた事例(最判平6.5.12民集48-4-1005)」,「代表者に建物を賃貸していた会社による右代表者の妻に対する明渡請求と権利濫用(最三判平7.3.28判時1526-92)」別冊NBL『実務取引法判例〔平成6・7年〕』(1998年)
- 「背信的悪意者からの転得者と民法177条の第三者(最判平8.10.29民集50巻9号2506頁)」法律時報別冊『私法判例リマークス1998上』(1998年)
- 「背信的悪意者からの転得者と民法一七七条——背信的悪意者からの転得者は自己の権利取得を未登記第一譲受人に対抗できるか(最判平成8.10.29民集50-9-2506)」法学教室増刊『民法の基本判例〔第2版〕』(1999年)
- 「医師の診療義務の懈怠と患者の死亡との因果関係(最一小判平成11.2.25民集53巻2号235頁)」法律時報別冊『私法判例リマークス2000上』(2000年)
- 「最大判平11.11.24と抵当権制度の将来(座談会)」(小笠原浄二＝鎌田薫＝塩崎勤＝志賀剛一＝滝澤孝臣＝升田純)旬刊金融法務事情1569号(2000年)
- 「医師の過失と患者の死亡との因果関係が証明されない場合の損害賠償責任(最判平成12.9.22民集54-7-2574)」法学教室2001年3月号別冊『判例セレクト'00』
- 「転貸賃料債権に対する物上代位権行使の可否(最決平12・4・14民集54巻4号1552頁)」ジュリスト臨時増刊『平成12年度重要判例解説』(2001年)
- 「債務不履行による賃貸借契約の解除と承諾がある転貸借の帰趨(最判平9.2.25民集51-2-398)」別冊ジュリスト『民法判例百選Ⅱ』(第5版2001年,第6版2009年)
- 「海面下の土地」「不動産たる建物」奥田昌道＝安永正昭＝池田眞朗・編『判例講義 民法Ⅰ総則・物権』(悠々社,2002年,補訂版2007年,第2版2014年)
- 「法102条2項にいう『利益』の意義」別冊ジュリスト『特許判例百選〔第3版〕』(2004年)
- 「建築士の『名義貸し』と建物購入者に対する不法行為責任(最一小判平成15年11月14



- 日民集57卷10号1561頁)」ジュリスト臨時増刊『平成15年度重要判例解説』(2004年)
- 「不実の持分移転登記と共有者の一人による抹消登記請求(最二判平15・7・11民集57-7-787)」法律時報別冊『私法判例リマックス2004下』(2004年)
- 「前払式継続的役務提供契約の中途解約と精算——東京高判平成18・2・28」NBL831号(2006年)
- 「概観(担保・保証)」金融法務事情1780号(金融法学会編『金融判例研究第16号』2006年)
- 「不動産の取得時効完成後の譲受人と背信的悪意者(最判平18・1・17民集60-1-27)」法律時報別冊『私法判例リマックス2007上』(2007年)
- 「概観(担保・保証)」金融法務事情1812号(金融法学会編『金融判例研究第17号』2007年)
- 「不動産の順次移転と中間省略登記」,「中間省略登記の抹消登記請求」別冊ジュリスト192号『不動産取引判例百選〔第3版〕』(2008年)
- 「概観(担保・保証)」金融法務事情1844号(金融法学会編『金融判例研究第18号』2008年)
- 「概観(担保・保証)」金融法務事情1876号(金融法学会編『金融判例研究第19号』2009年)
- 「概観(担保・保証)」金融法務事情1905号(金融法学会編『金融判例研究第20号』2010年)

#### Ⅳ 調査報告・座談会・翻訳・書評等

- 『SAFERの研究——先買権制度を中心として』(稲本洋之助らと共著)全国農地保有合理化協会(1975年)
- 『サフェル——S.A.F.E.R.』(稲本洋之助らと共訳)農林省(1975年)
- 「A. ヨナスク著・社会主義民法の基本制度」(翻訳)法学セミナー1976年3月号
- 「A. イオナスコ著・ヨーロッパ社会主義諸国における土地所有と土地利用」(翻訳)日本土地法学会『住宅政策・防災と法理論』(土地問題双書5)有斐閣,(1976年)
- 「公害法の原点に立ち返って(1)(2・完)」(座談会 篠塚昭次=沢井裕=五十嵐敬喜=浦川道太郎=内田勝一=鎌田薫)法律時報49巻11号・12号(1977年)
- 『法務大臣官房司法法制調査部編 フランス民法典一家族・相続関係』(稲本洋之助・原田純孝・吉田克己らと共訳)法務資料432号/法曹会(1978年)
- 「アウレリアン=ヨナスク著・社会主義法における所有権のタイプと形式」(翻訳)比較法学13巻1号(1978年)
- 「書評・広中俊雄著『物権法上巻』」法学セミナー1979年10月号
- 「フランソワーズ=デュラン著・フランスの土地政策——都心部における土地政策の法的・財政的手段」(翻訳)不動産研究22巻4号(1980年)
- 「不動産物権変動の法理——登記を中心に(4)民法94条2項類推適用論」(川井健=幾

- 代通＝石田喜久夫＝鎌田薫＝篠塚昭次＝谷口知平＝好美清光）ジュリスト720号（1980年）
- 「不動産物権変動の法理——登記を中心に（6）背信的悪意者と登記」（吉原節夫＝五十嵐清＝石田喜久夫＝鎌田薫＝川井健＝篠塚昭次＝谷口知平）ジュリスト727号（1980号）
- 「書評・全法務労組編『登記所繁忙記』」法学セミナー1981年8月号
- 「不動産物権変動の法理——登記を中心に（11・完）不動産物権変動と刑事責任」（西原春夫＝五十嵐清＝石田喜久夫＝鎌田薫＝篠塚昭次＝原島重義＝好美清光）ジュリスト748号（1981年）
- 『法務大臣官房司法法制調査部編 フランス民法典——物権・債権関係』（稲本洋之助・原田純孝・吉田克己らと共訳）法務資料441号／法曹会（1982年）
- 「早稲田法学百年を語る」（座談会 大野實雄＝星川長七＝中村吉三郎＝杉山晴康＝内田武吉＝中村眞澄＝佐藤篤士＝鎌田薫＝浦川道太郎＝奥島孝康＝西原春夫）早稲田法学58巻3号（1983年）
- 「シンポジウム ナショナル・トラスト——環境保護行政と私人の役割」（司会）日本土地法学会『ナショナルトラスト、転機に立つ借地借家（土地問題双書20）』（有斐閣，1984年）
- 「賃借人および賃貸人の権利および義務に関する1982年6月22日法律第526号（キイヨ法）」（東川始比古と共著）日仏法学12号，（1984年）
- 「君たちが学ぶ法学とは」（座談会，三井誠＝藤倉皓一郎＝鎌田薫ほか）法セミ増刊・法学入門（日本評論社，1985年）
- 「土地問題を考える（国土利用白書特集）」（座談会，川越昭＝鎌田薫＝日下公人＝宮沢美智雄＝鴻巣健治）人と国土65号（1985年）
- 「物権法一体系的・論理的推論を」法学セミナー1986年2月号
- 「不動産登記制度の歴史と展望——登記法100周年を迎えるにあたって」法学セミナー1986年9月号
- 「強迫〈体系・フランス民法〔債務法〕3〉」判例タイムズ613号（1986年）
- 「不登法公布100周年記念シンポジウム『不動産登記手続と実体法』（日本司法書士会連合会・有斐閣，1987年）
- 「滝沢幸代著・物権変動の理論（書評）」ジュリスト889号（1987年）
- 『「脳死および臓器移植についての中間報告」に関する早稲田大学法学部教授の意見』（共著，牛山積＝浦川道太郎＝鎌田薫＝黒木三郎＝須々木主一＝曾根成彦＝田山輝明＝野村稔＝石川正興＝木村利人）早稲田法学63巻2号（1988年）
- 「企業からみた法曹養成・法学教育（座談会）」（堀龍兒＝鎌田薫）法律時報60巻7号（1988年）
- 「民法学の課題と方法（シンポジウム）」・「続・民法学の課題と方法（シンポジウム）」（鎌田薫＝瀬川信久＝円谷峻＝能見善久＝松本恒雄＝好美清光）法律時報61巻2号・5号（1989年）

- 「大深度地下利用の問題点 (対談)」（鎌田薫＝岩城謙二）法令ニュース（税務経済社）24巻 4 号（1989年）
- 「国家への関心と人間への関心——広中俊雄教授に聞く（2）民法」（広中俊雄＝利谷信義＝中村哲也＝平井宜雄＝鎌田薫）法律時報62巻 3 号（1990年）／広中俊雄『国家への関心と人間への関心——ある法学研究者の歩み』（日本評論社，1991年）所収
- 「土地基本法をめぐる（座談会）」（鎌田薫＝黒川和美＝成田頼明＝日笠端＝藤田宙靖＝藤原良一）ジュリスト952号（1990年）
- 「中間省略登記（シンポジウム）」『第18回全青司東京全国研修会報告書』（新日本法規出版，1990年）
- 「知的所有権とトレードシークレット——トレードシークレット元年を迎えて」（座談会 三平圭祐＝鎌田薫＝岩田弘＝吉原省三＝細谷博）特許ニュース（通商産業調査会）8021（1991年）
- 「租税の過大な源泉徴収と不当利得返還請求権（早慶合同ゼミナール）」（加藤雅信＝鎌田薫＝池田眞朗）法学教室1992年 3 月号
- 『土地家屋調査士・司法書士の業務と民事責任（講演）』（福井県土地家屋調査士会・福井県司法書士会，1993年）
- 「書評・黒木三郎先生古稀記念論文集『現代法社会学の諸問題（上・下）』」月報司法書士252号（1993年）
- 「安全配慮義務と損害賠償（早慶合同ゼミナール）」（加藤新太郎＝鎌田薫＝池田眞朗）法学教室1993年 4 月号
- 「大学院教育の多様化と企業法学—法学教育を考える（1）（2）（座談会）」（柏木昇＝鎌田薫＝北川善太郎＝鈴木光夫）NBL536号・537号（1994年）
- 「PL 法で医療はどうなる」（座談会 小野輝治＝鎌田薫＝小清水敏昌＝塚崎鴻＝中井一士）月刊ばんぼう（日本医療企画）152号（1994年）
- 「フランス」『我が国における約款規制に関する調査（経済企画庁委託調査）』（商事法務研究会，1994年）
- 「キャッシュ・カードの不正使用と銀行の責任（早慶合同ゼミナール）」（寺田逸郎＝池田眞朗＝鎌田薫）法学教室1994年 4 月号
- 「医薬品と PL 法」（座談会 鎌田薫＝中井一士＝深田修＝石本宏昭＝小野輝治）日本製薬団体連合会＝日本製薬工業会・編『医薬品と PL 法—製造物責任法入門』（薬事日報社，1995年）
- 「不動産登記研究会／不動産売買の成立過程と契約成立前の合意の法的効力」（横山美夏＝江藤价泰＝清水誠＝田中克志＝鎌田薫ほか）日本司法書士会連合会・会報（研究論文集）87号（1995年）
- 「動機の錯誤（早慶合同ゼミナール）」（野村豊弘＝鎌田薫＝池田眞朗）法学教室1995年 4 月号
- 「専門家の民事責任（日本私法学会第58回大会シンポジウム）」（川井健＝西島梅治＝弥

- 永真生＝浦川道太郎＝鎌田薫＝小林秀之＝森島昭夫＝下森定＝落合誠一）私法57号（1995年）
- 『製造物責任法を活かすために——被害救済の実現に向けて（報告）』（升田純＝佐味祐介＝鎌田薫＝佐久間隆＝浅岡美恵＝中村雅人）日本弁護士連合会消費者問題対策委員会（1995年）
- 「取引基本契約書における PL 法対応（上）（中）（下）（座談会）」（鎌田薫＝宮島敏夫＝伊藤節＝杉岡修次）NBL578号～580号（1995年）
- 「法務省民事局第3課フランス不動産登記法（1955年1月4日の『土地公示を改革するデクレ』第22号）」（共訳：馬場圭太＝澤野和博＝栗山朗子＝小粥太郎＝山野目章夫＝後藤巻則）民事月報51巻2号，月刊登記情報36巻8号1996年）
- 「法務省民事局第3課 フランス不動産登記法（その2）（その3）1955年10月14日の「1955年1月4日の土地公示を改革するデクレの適用のためのデクレ」第1350号（その1）（その2・完）」（共訳：馬場圭太＝澤野和博＝栗山朗子＝小粥太郎＝山野目章夫＝後藤巻則）民事月報51巻3号・4号，月刊登記情報36巻9号・10号（1996年）
- 「知的財産権担保をめぐる法的諸問題（座談会）」（鎌田薫＝河本健一＝玉木誠＝長谷川俊明＝吉原省三）旬刊金融法務事情1444号（1996年）
- 『フランスにおける血液製剤事故の民事責任に関する判例』（海外医事制度研究会〔代表＝鎌田薫〕）血液製剤調査機構（1996年）
- 『医薬品の流通のあり方に関する研究報告書（平成7年度厚生科学研究事業報告書）』（1996年）
- 「日本私法学会シンポジウム 担保法学の当面する課題」（椿寿夫＝奥田昌道＝伊藤進＝鎌田薫＝吉田真澄＝加藤雅信＝角紀代恵＝鳥谷部茂＝國井和郎＝寺田正春）私法58号（1996年）
- 「書評 安永正昭＝道垣内弘人『民法解釈ゼミナール②物権』」法学教室1996年5月号
- 「行為無能力者と成年後見問題（早慶合同ゼミナール）」（星野英一＝鎌田薫＝池田眞朗）法学教室1996年6月号
- 「製造物責任法（PL法）の検討——立法から施行1年後までを振り返って」（座談会 小林秀之＝鎌田薫＝升田純＝林田学＝伊藤滋夫）判例タイムズ907号（1996年）
- 「血液・血液製剤被害と今後の安全・救済対策」（座談会 淡路剛久＝鎌田薫＝清水洋二＝宗像恒次）ジュリスト1097号（1996年）
- 「消費者契約適正化のための検討課題（1）～（4・完）（座談会）」（落合誠一＝鎌田薫＝松本恒雄＝大村敦志）NBL621号・622号・624号・626号（1997年）
- 「輸血におけるインフォームド・コンセントに関する中間報告」（大戸斉＝上田孝典＝鎌田薫＝木村昭夫＝前田平生）日本輸血学会インフォームド・コンセント小委員会（1997年）
- 「金融法学会シンポジウム 知的財産担保の法的諸問題（序論・司会）」（鎌田薫＝三浦章豪＝富井聡＝米澤英一＝小林久起＝堀龍兒）金融法研究13号（1997年）
- 「改築建物の附合と転用物訴権（早慶合同ゼミナール）」（瀬川信久＝鎌田薫＝池田眞朗）

法学教室1997年4月号

「日本私法学会シンポジウム 取引関係における違法行為とその法的処理——制度間競合論の視点から (コメント)」私法59号 (1997年)

「21世紀の司法書士像」(座談会 鎌田薫=村瀬長一=大手美知恵) EST (愛知県司法書士会, 1997年)

「輸血におけるインフォームド・コンセントに関する中間報告」(大戸斉=上田孝典=鎌田薫=木村昭夫=前田平生) 日本臨牀55巻9号 (1997年)

「21世紀の大深度地下利用のあり方」(座談会 伊藤滋=鎌田薫=五代利矢子=林桂一) 人と国土140号 (1997年)

「立法・立法学の現状と課題 (上) (下) (座談会)」(上村達男=宇賀克也=大森政輔=鎌田薫=長谷部恭男=山本庸幸=後藤敬三=寺田逸郎) NBL630号・631号 (1997年)

「登記の流用と背信的悪意者からの転得者 (早慶合同ゼミナール)」(能見善久=鎌田薫=池田眞朗) 法学教室1998年3月号

『献血における ATL 抗体陽性に関する研究 4 HTLV-I 抗体陽性献血者への通知に関する提言』(納光弘=鎌田薫=前田義章=津崎文雄=中川正法=宇宿功市郎) 厚生省血液研究事業平成9年度研究報告集 (1998年)

『輸血におけるインフォームドコンセントに関する報告書』(大戸斉=上田孝典=鎌田薫=上西紀夫=柴田鉄治=前田平生=清水勝) 日本輸血学会 (1998年)

「不動産所有権の現代的諸問題 (第5回日仏共同研究集会)」(大村敦志=鎌田薫=北村一郎=久保茂樹=瀬川信久=滝沢正=原田純孝=樋口陽一=星野英一=山野目章夫=吉田克己) ジュリスト1134号 (1998年)

「特集・グローバルスタンダードを日本がリードする—改正特許法の基本理念をめぐって (座談会)」(鎌田薫=幸田重教=荒井寿光) 通産ジャーナル (通商産業調査会) 31巻8号 (1998年)

「司法改革を考える (上) (下) (座談会)」(鎌田薫=高橋宏志=庭山正一郎=房村精一=宮川光治) NBL656号・657号 (1999年)

「民法施行100周年記念シンポジウム・物権変動理論と公示制度の現実」(鎌田薫=金山直樹=七戸克彦=高橋良彰=加藤政也=佐藤直路), 「民法施行100周年記念座談会」(鎌田薫=金山直樹=七戸克彦=高橋良彰=松岡久和=横山美夏ほか) 会報 THINK (日本司法書士会連合会) 95号 (1999年)

『規制緩和後の市場ルール重視型経済社会における競争秩序規制のあり方に関する調査研究 (平成10年度我が国経済構造に関する競争政策的観点からの調査研究)』(上原敏夫=鎌田薫=潮見佳男=角田美穂子=高田昌宏=中田邦博=原竹裕) (商事法務研究会/通商産業省, 1999年)

「無権代理と相続・抵当権実行と時効中断 (早慶合同ゼミナール)」(安永正昭=池田眞朗=鎌田薫) 法学教室1999年4月号

「民法100年と債権法改正の課題と方向 (日本私法学会シンポジウム)」(河上正二=鎌田

- 薫＝能見善久＝山本豊＝池田眞朗＝松本恒雄＝内田貴）私法61号（1999年）
- 「抵当権についてとくに解決すべき課題（座談会）」（鎌田薫＝小林明彦＝菅原胞治＝田井雅巳＝堀龍兒＝升田純）旬刊金融法務事情1546号（1999年）
- 「特許法の改正と今後の課題・動向（座談会）」（鎌田薫＝竹田稔＝中山信弘＝馬場錬成＝丸島儀一）ジュリスト1162号（1999年）
- 「規制緩和と消費者契約法（中）（下）―討論」（落合誠一＝石井維津子＝沖野眞巳＝長見萬里野＝鎌田薫＝小塚莊一郎＝角田真理子＝野々山宏＝原早苗＝堀裕＝森田修＝柳川範之＝山本豊）NBL679号（1999年）684号（2000年）
- 「競争秩序の維持と「私訴」を考える（上）（下）」（鎌田薫＝高橋宏志＝田村善之）NBL680号・681号（2000年）
- 「転貸料債権に対する物上代位（早慶合同ゼミナール）」（吉田克己＝鎌田薫＝池田眞朗）法学教室2000年4月号
- 「書評・大村敦志＝道垣内弘人＝森田宏樹＝山本敬三・著『民法研究ハンドブック』（有斐閣）」法学教室2000年10月号
- 「地籍調査の促進に向けて」（井上篤太郎＝鎌田薫＝段本幸男＝河崎広二）人と国土157号（2000年）
- 「不動産登記法の100年と司法書士の役割（シンポジウム）」THINK 会報96号（2000年）
- 「消費者信用法制の今後―改正割賦販売法を中心に（座談会）」（森島昭夫＝野村豊弘＝鎌田薫＝山本豊＝古賀成明＝近藤智洋）クレジット研究23号（2000年）
- 「抵当権制度の現状と将来像（1）～（15・完）（座談会）」（鎌田薫＝山本和彦＝道垣内弘人＝小林明彦＝菅原胞治＝中村廉平）NBL700号～724号（2000年～2001年）
- 「倒産手続と民事実体法（日本私法学会シンポジウム）」（伊藤眞＝鎌田薫＝中田裕康＝森田修＝山野目章夫＝道垣内弘人＝野村豊弘）私法63号（2001年）
- 「改正民事再生法『住宅資金貸付債権に関する特則』をめぐる諸問題〔第1回〕～〔第5回・完〕」（座談会 石井眞司＝鎌田薫＝始関正光＝筒井健夫＝三上徹＝桃尾重明＝山本和彦＝吉元利行）旬刊金融法務事情1599号～1603号（2001年）
- 『中心市街地における商業活性化のためのタウンマネージメント手法をより実効性のある体制として構築するための調査研究報告書（平成11年度中小企業庁委託事業）』（共著：大川睦＝浅海義治＝石原武政＝小原耕治＝後藤尚美＝鎌田薫＝福川裕一＝矢作弘＝渡辺文夫）（株）まちづくりカンパニーシープネットワーク（2001年）
- 「不法行為の競合と損害賠償の範囲（早慶合同ゼミナール）」（内田貴＝池田眞朗＝鎌田薫）法学教室2001年3月号
- 「研究会・民事再生法―立法・解釈・運用〔第6回〕〔第7回〕」（伊藤眞＝高橋宏志＝田原睦夫＝林道晴＝松下淳一＝深山卓也＝鎌田薫＝福永有利）ジュリスト1196号・1199号（2001年）
- 『寄与侵害・間接侵害に関する研究（分担執筆）〈著作権研究所研究叢書 No. 4〉』（著作権情報センター附属著作権研究所，2001年）

- 「日本私法学会シンポジウム 倒産手続と民事実体法 (司会・序論)」(伊藤眞＝鎌田薫＝中田裕康＝森田修＝山野目章夫＝道垣内弘人＝野村豊弘) 私法63号 (2001年)
- 「ひと・とち・みらい——地籍を考える」土地家屋調査士制度制定50周年記念・地籍国際シンポジウム記録集 (2001年)
- 「次世代の法曹養成はどうなるか (上) (下) (座談会)」(内田貴＝鎌田薫＝吉原省三＝高橋宏志) NBL718号・719号 (2001年)
- 「シリーズ・会長対談 (座談会)」(成田康枝ほか) 司法書士愛知99号 (2003年)
- 「担保・執行法制の改正と理論上の問題点 (座談会)」(池田光宏＝奥田昌道＝鎌田薫＝松岡久和＝山本克己) ジュリスト1261号 (2004年)
- 「受領遅滞・保証・物権的請求権 (早慶合同ゼミナール)」(奥田昌道＝池田眞朗＝鎌田薫) 法学教室2004年3月号
- 「動産・債権譲渡公示制度の整備に向けて (金融法学会シンポジウム)」(鎌田薫・山田誠一・森田宏樹) 金融法研究21号 (2005年)
- 「動産・債権譲渡担保における公示制度の整備 (座談会)」(鎌田薫＝沖野眞巳＝佐藤正謙＝藤井孝司＝三上徹) ジュリスト1283号 (2005年)
- 「不動産法セミナー (第1回)～(第34回・完) (座談会)」(鎌田薫＝始関正光＝寺田逸郎＝道垣内弘人＝松岡久和＝安永正昭＝山野目章夫ほか) ジュリスト1289号～1371号 (2005年～2009年)
- 「債権譲渡等に関する判例動向が保険会社実務へ及ぼす影響について (座談会)」(鎌田薫＝沖野眞巳＝野村弘＝柴田堅太郎＝千野清巳＝卯辰昇ほか) ほうむ (損保ジャパン) 51号 (2005年)
- 「新しい法律学の創造を目指す横断シンポジウム——企業と市場と市民社会をキーワードに」(上村達男＝樋口陽一＝水林彪＝鎌田薫＝田口守一＝土田和博＝石田眞＝浦川道太郎＝加藤哲夫＝高林龍＝川濱昇) 季刊企業と法創造 (早稲田大学21世紀 COE〈企業と法創造〉総合研究所) 1巻4号 (2005年)
- 「小児ドナーにおける権利保護」厚生労働科学研究費補助金ヒトゲノム・再生医療等研究事業「移植医療におけるドナー及びレシピエントの QOL 向上に関する研究」平成16年度総括・分担研究報告書 (2005年)
- 「業務提携と多数当事者間の契約関係 (早慶合同ゼミナール)」(椿寿夫＝池田眞朗＝鎌田薫) 法学教室2005年5月号
- 「鼎談・物権変動論を語る」(鎌田薫＝加藤雅信＝加藤新太郎) 判例タイムズ1182号 (2005年)
- 「民活・電子化とこれからの公共嘱託 (シンポジウム)」(鎌田薫＝七戸克彦＝千葉景子＝佐藤純通＝紺谷典子) 公嘱20周年記念誌『官から民へ』(全国公共嘱託登記司法書士協会協議会, 2005年)
- 「シンポジウム・法整備事業の今昔 (大久保報告へのコメント) 早稲田大学比較法研究所編『日本法の国際的文脈—西欧・アジアとの連鎖』(2006年)



- 「債権法の改正に向けて（上）（下）——民法改正委員会の議論の現状（座談会）」（内田 貴＝大村敦志＝角紀代恵＝鎌田薫＝窪田充見＝潮見佳男＝道垣内弘人＝中田裕康＝山本敬三＝石川博康）ジュリスト1307号・1308号（2006年）
- 「誤振込と受取人の債権者による預金債権の差押え（早慶合同ゼミナール）」（星野英一＝池田真朗＝鎌田薫）法学教室2006年4月号
- 「事業用借地権（シンポジウム）」（澤野順彦＝鈴木祿弥＝鎌田薫）日本土地法学会『借地借家法の改正・新景観法（土地問題双書37）』（有斐閣，2006年）
- 「造血幹細胞移植ドナーの権利擁護の法的検討に関する研究」『骨髓、末梢血等を利用した効率的な造血細胞移植の運用・登録と臨床試験体制の確立並びにドナー及びレシビエントの安全確保とQOL向上に関する研究（厚生労働科学研究費補助金ヒトゲノム・再生医療等研究事業平成17年度総括・分担研究報告書）』（2006年）
- 「シンポジウム 法のグローバル化と日本法のアイデンティティ（外国法の継受と移植——ベトナムの経験）」早稲田大学比較法研究所編『日本法のアイデンティティに関する総合的・比較法的研究』（成文堂，2007年）
- 「権利能力なき社団の構成員資格と公序良俗・慣習（早慶合同ゼミナール）」（大村敦志＝池田真朗＝鎌田薫）法学教室2007年3月号
- 「視点・司法書士の名称変更に関する座談会」（鎌田薫＝猪股秀章＝大部孝＝北田基司＝田中住江＝松永六郎＝船橋幹男）月報司法書士424号（2007年）
- 「造血幹細胞移植ドナーの権利擁護の法的検討に関する研究」小寺良尚『骨髓、末梢血等を利用した効率的な造血細胞移植の運用・登録と臨床試験体制の確立並びにドナー及びレシビエントの安全確保とQOL向上に関する研究（厚生労働科学研究費補助金ヒトゲノム・再生医療等研究事業金平成18年度総括・分担研究報告書）』（2007年）
- 「交通事故と生命侵害—医療過誤、被害者・被害者側の過失、被害者の素因との競合（早慶合同ゼミナール）」（沖野眞已＝池田真朗＝鎌田薫）法学教室2008年3月号
- 「世界と語ろう 地籍・地図・境界のあした（第5回地籍シンポジウム）」（鎌田薫＝清水英範＝西本孔昭＝村田博史＝宋鎬龍＝何維信＝松岡直武）『土地家屋調査士全国大会 in Kyoto 記録集』（日本土地家屋調査士会連合会，2008年）
- 「グローバリゼーションと日本民法学の潮流（星野報告へのコメント）」早稲田大学比較法研究所・編『比較と歴史のなかの日本法学——比較法学への日本からの発信』（2008年）
- 「物権変動論とその法構造（鼎談）」（鎌田薫＝加藤雅信＝加藤新太郎）加藤雅信＝加藤新太郎・編著『現代民法学と実務（上）』（判例タイムズ社，2008年）
- 「民法（債権法）改正検討委員会の審議を終えて（対談）」（鎌田薫＝内田貴）NBL903号（2009年）
- 「不動産取引と登記—賃借権および通行地役権の時効取得と第三者への対抗（早慶合同ゼミナール）」（松岡久和＝鎌田薫＝池田真朗）法学教室2009年5月号
- 「シンポジウム・債権法改正の基本方針（総論・質疑）」別冊NBL127号（2009年）



「条文の精読で拓く民法の世界 (書評・大村敦志『民法読解 総則編』有斐閣2009年)」  
法学セミナー2009年11月号

「美術品・骨董品の交換契約 (早慶合同ゼミナール)」(潮見佳男＝池田眞朗＝鎌田薫)  
法学教室2010年3月号

「パネルディスカッション 市民社会における安心・安全と地図・地籍・登記の役割」  
(鎌田薫＝前田幸保＝安藤暁史＝坂本勇＝宮崎清博＝上条勝也＝小林庄次) 土地家屋  
調査士638号 (2010年)

「ヨーロッパ民法典構想の現在: DCFR 不当利得規定 (コメント)」戒能通厚＝石田眞  
＝上村達男・編『法創造の比較法学—先端的課題への挑戦』(日本評論社, 2010年)

「法科大学院における民事法教育」(大村敦志＝鎌田薫＝潮見佳男＝松本恒雄) 法学セ  
ミナー672号 (2010年)

「先端医療と生命倫理」(高久文麿＝鎌田薫) Law & Technology 50号 (2011年)

「民法 (債権法) 改正に向けて——産業政策的な観点から (座談会)」(鎌田薫＝奈須野  
太＝伊達智子) NBL944号 (2011年)

「広告に基づく通信販売と消費者契約トラブル (早慶合同ゼミナール)」(河上正二＝池  
田眞朗＝鎌田薫) 法学教室2011年4月号

「数量超過売買における売主の保護 (早慶合同ゼミナール)」(磯村保＝鎌田薫＝池田眞  
朗) 法学教室2012年4月号

「創立60周年記念シンポジウム 債権法の未来像」(沖野眞巳＝鎌田薫＝国谷史朗＝那須  
弘平＝ダニエル・フット＝門口正人) 法の支配 (日本法律家協会) 166号 (2012年)

「安全性を欠く住宅の建築請負人の責任 (早慶合同ゼミナール)」(松本恒雄＝池田眞朗  
＝鎌田薫) 法学教室2013年4月号

「民法がつなげる実務と理論——中間試案の特徴と審議の内容を踏まえて (鼎談)」(鎌  
田薫＝大村敦志＝内田貴) NBL1000号 (2013年)

「賃貸人の地位の承継と相殺契約の対外効 (早慶合同ゼミナール)」(道垣内弘人＝鎌田  
薫＝池田眞朗＝白石大) 法学教室2014年4月号

「民法 (債権関係) の改正に関する要綱仮案の公表 (鼎談)」(鎌田薫＝中井康之＝道垣  
内弘人) ジュリスト1474号 (2014年)

「基本法のゆくえ——歴史的変革期を迎える日本の法制度 (鼎談)」(鎌田薫＝但木敬一  
＝長谷部恭男) NBL1041号 (2015年)

「ホシ・イッテツの怒り—私立高校野球部監督の解雇をめぐる親・監督と学校との紛争  
(早慶合同ゼミナール)」(小粥太郎＝田高寛貴＝鎌田薫＝白石大) 法学教室2015年4  
月号

「債務者の無資力に直面した一般債権者が取りうる法的手段—共同抵当不動産の身内へ  
の廉価売却 (早慶合同ゼミナール)」(石田剛＝鎌田薫＝白石大＝田高寛貴) 法学教室  
2016年4月号

「パネルディスカッション 民事紛争処理研究基金『法曹養成の新たなヴィジョンを模索す

- る——医師養成の理念と韓国の法曹養成の現状を踏まえて』(久保利英明＝鎌田薫＝北村聖＝金昌禄＝但木敬一＝富山和彦)(商事法務, 2016年)
- 「婚姻・親子関係の民法秩序——嫡出否認と認知無効の非対称性(早慶合同ゼミナール)」(水野紀子＝田高寛貴＝鎌田薫＝白石大)法学教室2017年3月号
- 「大学スポーツの産業化を考える(シンポジウム)」(尾山基＝由良英雄＝鎌田薫＝平田竹男＝中村好男) Sports Business & Management Review (日本スポーツ産業学会) 2号(2017年)
- 「座談会・民法(債権法)改正法が成立して」(鎌田薫＝内田貴＝筒井健夫＝村松秀樹) NBL1101号(2017年)
- 「浦川道太郎＝内田勝一＝鎌田薫先生座談会(2016年11月18日)」(浦川道太郎＝内田勝一＝鎌田薫＝秋山靖浩) 浦川道太郎先生・内田勝一先生・鎌田薫先生古稀記念論文集 編集委員会編『早稲田民法学の現在』(成文堂, 2017年)

## V 随筆・インタビュー・大学問題・その他

- 「ラ・ボールの法律ギリラ(研究余滴)」判例タイムズ505号(1983年)
- 「問題と解説・民法」法学セミナー1984年4月号
- 「気になる大人の身勝手」法学セミナー1987年9月号
- 「学習文献案内」水本浩・編著『法学ガイド4—民法Ⅱ(物権)』(別冊法ゼミ90号, 1988年)
- 「登記原因と登記原因証書」月報司法書士(日本司法書士会連合会)205号(1988年)
- 「司法書士制度の未来像」福岡県司法書士会会報332号(1989年)
- 「“L & T”の発刊にあたって」Law & Technology(民事法情報センター)創刊号(1989年)
- 「トレード・シークレット(KEY WORD)」法学教室1990年8月号
- 「司法書士制度の更なる飛躍を」横浜司法書士会会報32号(1990年)
- 「法律情報検索システムへの期待」WELCOME NEWS(早稲田大学情科センター)13号(1990年)
- 「政府税調の土地税制基本答申」信濃毎日新聞1990年11月18日号
- 「早慶合同ゼミナール(Information Campus)」(鎌田薫＝池田眞朗)法学教室1991年2月号
- 「地価暴騰はなぜ起きたのか—土地政策を中心に(上)(下)」税経新報(税経新人会全国協議会)356号・357号(1991年)
- 「医療機器と製造物責任」新しい医療機器(医療機器センター)2巻1号(1993年)
- 「新しい時代の企業法務に向けて」旬刊金融法務事情1375号(1994年)
- 「カリキュラム改革と法学部の方向性について」Themis(早稲田大学法学部)12号(1994年)
- 「PL 制度導入と企業の対応のあり方」国際商業(国際商業出版)27巻4号(1994年)

- 「製造物責任 (PL) 法について」 ホームヘルス機器 (日本ホームヘルス機器工業会) 258号 (1995年)
- 『健康機器』『運動機器』の PL 対策」健康産業新聞 (健康産業新聞社) 807号 (1995年)
- 「学問と大学／法学—民法」 Guideline (全国進学情報センター／河井塾) 1995年 6 月号
- 「化粧品・日用品企業の PL 完全対応 (Q & A)」国際商業 (国際商業出版) 28巻 7 号 (1995年)
- 「立法学研究会の発足にさいして」 (大森政輔と共著) NBL574号 (1995年)
- 「生き生きとした法律学を (るるぶ情報板・学校 1—早稲田大学)」るるぶ (日本交通公社出版事業局) 955号 (1995年)
- 「知的財産と担保融資の意義 (特集／動き始めた知的財産権担保融資)」月刊金融ジャーナル (金融ジャーナル社) 37巻 2 号 (1996年)
- 「知的財産権で変わる担保融資の考え方」銀行実務 (銀行研修社) 26巻 5 号 (1996年)
- 「民法・物権法」アエラムック16 (朝日新聞社, 1996年)
- 「大深度地下の適正利用に向けて」月刊用地31巻372号 (1998年)
- 「迅速に現状に合わせ臓器移植法見直しへ」静岡新聞1999年 5 月22日
- 「創刊を祝して——新しい法律家像の確立を目指して」市民と法 (民事法研究会) 創刊号 (1999年)
- 「大深度地下利用と土地所有権」月刊建設オピニオン (建設公論社) 7 巻 7 号 (2000年)
- 「住宅ローン債務者の再生」銀行実務30巻12号 (2000年)
- 「法学教育の行方——市民社会を支える広範な法律実務家の養成を」民事法務228号 (2001年)
- 「法律家は何をなしうるか」Law & Technology 14号 (2002年)
- 「自己さい帯血の保存？」さい帯血バンク Now (日本さい帯血バンクネットワーク) 4 号 (2002年)
- 「バリ大学より」法学教室2002年 6 月号
- 『生命倫理法』の改正」さい帯血バンク Now 8 号 (2002年)
- 「生命倫理は政治問題？」さい帯血バンク Now 10号 (2003年)
- 『登記情報』の更なる活用に向けて」登記情報500号 (2003年)
- 「知的財産担保融資の現状と課題——法律面からの考察 岐阜を考える (岐阜県産業経済振興センター) 119号 (2004年)
- 「永続性ある社会システム確立を——課題へ適切に対処」さい帯血バンク Now 17号 (2004年)
- 「子の名に用いることのできる漢字」民事法務268号 (2004年)
- 「動産登記制度創設へ」ビジネス法務 (中央経済社) 4 巻12号 (2004年)
- 「優れた人材の確保に向けて (明日の企業法務を考える)」NBL800号 (2005年)
- 「中間省略登記をめぐって」月刊登記情報524号 (2005年)

- 「法律は社会の不調和を解決できるのか？」新鐘（早稲田大学学生部）72号（2005年）
- 「ギブ・ミー・チョコレート」民事法務287号（2006年）
- 「多様性と進取の精神に富んだ法曹の養成」読売新聞大学取材班『研究室から社会を変えろ——躍動する早稲田大学の研究活動』（中央公論新社，2006年）
- 「不動産登記と専門家の役割」月刊登記情報543号（2007年）
- 「共同申請主義と単独申請主義」民事法務303号（2007年）
- 「法科大学院と企業法務」ほうむ54号（2008年）
- 「早稲田大学比較法研究所創立50周年を記念して」比較法学42巻1号（2008年）
- 「深化・定着する『理論と実務の架橋』——早稲田大学法科大学院」（鎌田薫＝四宮啓＝梶島裕之）法学セミナー2008年6月号
- 「バリの地下鉄」民事法務320号（2009年）
- 「債権法改正に関する検討の現状」NIBEN Frontier（東京第2弁護士会）2009年8/9月号
- 「さい帯血バンク事業の確立に向けて」日本さい帯血バンクネットワーク設立10周年記念誌（2009年）
- 「民法改正の意義と金融法務への影響」月刊ファイナンシャルコンプライアンス（銀行研修社，2009年）
- 「法科大学院研究科長に聞く——早稲田大学法科大学院」（鎌田薫＝古谷修一）受験新報2010年1月号
- 「製造物責任と消費者法」別冊ジュリスト200号『消費者法判例百選』（2010年）
- 「民法（債権法）改正の動向」平成21年度会員研修会記録（関東ブロック司法書士会協議会，2010年）
- 「佳境に入りつつある民法（債権関係）部会審議」事業再生と債権管理（きんざい）130号（2010年）
- 「この人に聞く これが私の生きる道——過渡期を迎える法科大学院教育、佳境に入りつつある民法改正をよりよい方向へ」金融法務事情1910号（2010年）
- 「グローバル時代の中、人材供給の役割をどう果たす？」財界59巻4号（2011年）
- 「早稲田・慶應トップ対談」（鎌田薫＝清家篤）サンデー毎日2011年3月27日特大号
- 「教育・研究の改革と情報化」JUICE Journal 大学教育と情報（私立大学情報教育協会）2011年4号
- 「教育対談2011」（鎌田薫＝嶋田弘尊ほか）代進教育ニュース2011年夏季号
- 「バリでの出会い（交友抄）」日本経済新聞2011年10月17日朝刊
- 「個性あふれる私学だからこそできる、ニッポンの課題解決」（鎌田薫＝清家篤）大学の約束（リクルート）2011年版
- 「法科大学院のさらなる発展を」ロースクール研究（民事法研究会）18号（2011年）
- 「世界で活躍する人材とは」三田評論1153号（2012年）
- 「『秋入学』私はこう考える」サンデー毎日91巻15号（2012年）

- 「量から質への転換へ」大学ランキング2013 (2012年)
- 「秋入学こう考える」日本経済新聞2012年4月2日朝刊
- 「超有識者場外ヒアリングシリーズ 私立大学編」(鎌田薫＝神田真人) ファイナンス (財務省) 48巻2号 (2012年) / 神田真人『超有識者たちの洞察と示唆 強い文教、強い科学技術に向けてⅡ』(学校経理研究会, 2016年) 所収
- 「富士登山と人生〈窓辺〉」静岡新聞2012年4月3日夕刊
- 「山本先生〈窓辺〉」静岡新聞2012年4月10日夕刊
- 「バリのメトロ〈窓辺〉」静岡新聞2012年4月17日夕刊
- 「大学の国際化と秋入学〈窓辺〉」静岡新聞2012年4月24日夕刊
- 「戦地に逝ったワセダのヒーロー〈窓辺〉」静岡新聞2012年5月1日夕刊
- 「政治と学問〈窓辺〉」静岡新聞2012年5月8日夕刊
- 「台湾農業を支えた日本人たち〈窓辺〉」静岡新聞2012年5月15日夕刊
- 「スポーツの効用〈窓辺〉」静岡新聞2012年5月22日夕刊
- 「変貌する学生街〈窓辺〉」静岡新聞2012年5月29日夕刊
- 「ウナギ〈窓辺〉」静岡新聞2012年6月5日夕刊
- 「学生たちの憲法草案〈窓辺〉」静岡新聞2012年6月12日夕刊
- 「石橋湛山と三浦鍬太郎〈窓辺〉」静岡新聞2012年6月19日夕刊
- 「いのちの絆〈窓辺〉」静岡新聞2012年6月26日夕刊
- 「我曾生活在李大釗的宿舍」新鮮日本 (朝日新聞社) 2012年6月29日号
- 「Waseda Vision 150 新たな船出」西北の風 (早稲田大学校友広報誌) 12号 (2012年)
- 「早大20年後の姿提案」日本経済新聞2012年11月19日朝刊
- 「世界の平和と繁栄、文化の向上に向けて挑戦する諸君へ」会誌 (山岡育英会) 48号 (2012年)
- 「日中交流と大学教育」IDE 現代の高等教育549号 (2013年)
- 「『魅力』ある私立大学を目指して (座談会)」(坂井東洋男＝日高義博＝鎌田薫＝横山晋一郎＝仙波憲一) 大学時報 (日本私立大学連盟) 348号 (2013年)
- 「世界の早稲田大学へ (対談)」鶴蒔靖夫『続・続 大変革を読むヒント』(IN 通信社, 2013年)
- 「白熱鼎談『知の開国の話をしよう』上・下」(濱田純一＝鎌田薫＝清家篤) サンデー毎日2013年3月24日号・31日号
- 「『財界』創刊60周年記念インタビュー: 人づくりの原点に戻る」財界61巻8号 (2013年)
- 「星野先生の『怖さ』と『優しさ』」内田貴＝大村敦志＝星野美賀子・編『星野英一先生の想い出』(有斐閣, 2013年)
- 「条文を読むことは、自らの理解の深さを知ること」三省堂編修所・編『ひと目でわかる六法入門』(2013年)
- 「Waseda Vision 150 グローバル人材育成の使命 (座談会)」(鎌田薫＝弘兼憲史＝隅修

- 三＝貞包みゆき) 西北の風(早稲田大学校友広報誌) 13号(2013年)
- 「大学の挑戦(第33回) 早稲田大学“Waseda Vision 150”をベースにアジアのリーディングユニバーシティを目指します」経済界48巻24号(2013年)
- 「貳貳貳拾年 111人の予想図」産経新聞2014年1月1日
- 「日本の教育再生と高等教育改革——いよいよ動き出すグローバル化に向けた大胆な改革とは(対談)」(鎌田薫＝小林光俊) FORUM(東京都専修学校各種学校協会) 32号(2014年)
- 「Higher Education in the Age of Globalization: Japan and France – Growing need for reciprocal recognition through academic and student exchanges.」(H.E.M.Christian Masset, Kaoru Kamata and Hidetoshi Nakamura) Japanese Journal of European Studies, Organisation for European Studies (Waseda University) 2014 vol.2
- 「これからの自動車技術に期待すること」自動車技術(自動車技術会) 68号(2014年)
- 「シリーズ・産業界に人材供給する大学は今……(第7回) 早稲田大学」財界62巻12号(2014年)
- 「地方出身者を呼び戻したい(インタビュー)」四国新聞2014年12月14日
- 「『民法(債権関係)の改正に関する要綱』の決定——民法(債権関係)部会の審議を終えて」NBL1045号(2015年)
- 「シンポジウム・改正学校教育法と大学ガバナンスのあり方」(島田精一＝清家篤＝鎌田薫＝吉田大輔＝吉沢英成＝神代正道)平成26年度理事長会議報告書(日本私立大学連盟, 2015年)
- 「大学歴訪録 早稲田大(対談)」(鎌田薫＝高宮敏郎＝奥村直生)Y-SAPIX JOURNAL(日本入試センター) 2015年4-5月号
- 「大学基準協会の歩むべき方向性」『大学基準協会の歩みと展望——高等教育の質的転換を求めて』(2015年)
- 「早慶トップに問うグローバル競争に挑む覚悟(インタビュー)」(清家篤＝鎌田薫)週刊東洋経済6600号(2015年)
- 「Leader's Eye エグゼクティブの視線 早稲田大学総長 鎌田薫(インタビュー)」DELTA Sky Magazine(デルタ航空) 2015年7-8月号
- 「学びの未来を創る——年3000人留学 進む国際化」朝日新聞2015年7月3日
- 「対談・佐賀県と早稲田の未来」(山口祥義＝鎌田薫＝中尾清一郎)佐賀新聞2015年7月25日
- 「Globalization in education : Cutting-edge university instills a global perspective in its in-demand graduates. (インタビュー)」The Worldfolio, 2015年6月8日
- 「グローバル人材をどのように育成するか?」IDE 現代の高等教育573号(2015年)
- 「早稲田と演劇、その密な関係(シンポジウム)」(平田オリザ＝鎌田薫＝岡室美奈子)CAMPUS NOW(早稲田大学広報室) 216号(2015年)
- 「集まり散じて世界に貢献」永楽だより(永楽倶楽部) 48号(2015年)

- 「早稲田卒業生よ 誇りを持って先輩たちに続け (対談)」(鎌田薫＝河崎健一郎) 稲門法曹会会報創刊準備号 (2015年)
- 「グローバル時代の社会人教育 (座談会)」(吉川美代子＝小松親次郎＝鎌田薫＝関岡智美) 西北の風 (早稲田大学広報室広報課) 15号 (2015年)
- 「教育再生実行会議の提言が目指すもの」じゅあ (大学基準協会) 55号 (2015年)
- 「世界に貢献する大学であり続けるために」会誌 (山岡育英会) 51号 (2016年) ～53号 (2018年)
- 「学長対談シリーズ——教育対談2016」(鎌田薫＝島田弘尊ほか) 代進教育ニュース2016年春号
- 「挑む大学——『研究大学の早稲田大学』として今後も強い分野を伸ばしていく」月刊私塾界 (全国私塾情報センター) 2016年3月号
- 「早稲田大学とこれからの地域活性化 (座談会)」(横山勝常＝吉川真嗣＝鎌田薫＝高瀬杏＝勝田翔) 西北の風 (早稲田大学広報室) 16号 (2016年)
- 「スーパーグローバル大学の实力と戦略——早稲田大学」『大学の約束2016-2017』(リクルートホールディングス, 2016年)
- 「早稲田大学におけるダイバーシティ推進——男女共同参画の推進からダイバーシティの推進へ (鼎談)」(鎌田薫＝畑恵子＝矢口徹也) SANKAKU News (早稲田大学ダイバーシティ推進室) 16号 (2016年)
- 「改革力——早稲田大学 (インタビュー)」卓越する大学2017 (大学通信, 2016年)
- 「古稀論文集刊行に寄せて」池田雅之先生古稀記念『祈りと再生のコスモロジー——比較基層文化論序説』(成文堂, 2016年)
- 「理論と理念を尊重した民事立法と法学教育改革」新堂幸司・編『日本法の舞台裏』(商事法務, 2016年)
- 「思考・表現力問う選抜に (大学入試改革フォーラム)」(鎌田薫＝河村隆＝小林浩＝宮本久也＝山口佳三＝古沢由紀子) 読売新聞2016年10月14日
- 「早稲田大学が目指す教育」早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター編『体験の言語化』(成文堂, 2016年)
- 「発刊に寄せて」友成真一『ワセダ発! ぶつかる社会連携——大学職員による教育プログラム』(水曜社, 2016年)
- 「高校で思考力・表現力を 新テストは大学のメッセージ (インタビュー)」AERA2016年12月19日号
- 「個性輝く私立大学の存在を示す年に」大学時報 (日本私立大学連盟) 2017年1月号
- 「高大接続・大学入試改革と私学の役割」全私学新聞平成29年2月12日号
- 『大隈重信演説談話集』若者に読んでほしい大学トップが薦める一冊 週刊朝日2017年3月3日号
- 「インターンシップと地方創生」日本経済新聞2017年3月29日
- 「学部教育の質向上推進 (インタビュー)」日刊工業新聞2017年4月6日朝刊

- 「私立大学の独自性に基づく独自性と公共性（講演）」平成28年度学長会議報告書（日本私立大学連盟、2017年）
- 「産学の協働を通じて、世界に誇る『教育立国』の再興を」月刊経団連2017年6月号
- 「脈々と受け継がれる建学の精神——早稲田大学」新宿区成立70周年記念誌『新宿彩物語～時と人の交差点～』（新宿区、2017年）
- 「入学試験とは大学の教育方針を反映した学生へのメッセージである」日経マガジン 2017年6月30日号（教育特集号）
- 「『変革期』に求められる人材育成のあり方」財界65巻13号（2017年）
- 「大学の『理念』と『改革』」中央公論2017年8月号
- 「債権法改正を祝し、さらなる発展を期待する」金融法務事情2072号（2017年）
- 「正解がない問題に果敢に挑戦する人を育てる（高井昌史の教育改革対談）」衆知（PHP 研究所）2017年9月10日号
- 「日本の入学者選抜が直面する課題と未来の兆し（座談会）」（鎌田薫＝室伏きみ子＝宮本久也＝小林浩）リクルート カレッジマネジメント207号（2017年）
- 「国の政策の中での大学」IDE 現代の高等教育597号（2018年）
- 「私立大学の未来を考える（朝日みらい教育フォーラム2017）」（パネル・ディスカッション 長谷山彰＝鎌田薫＝土屋恵一郎＝金子元久＝浦野光人＝片山健志）朝日新聞 2018年1月17日朝刊
- 「刊行に寄せて」神田真人『超有識者達の慧眼と処方箋（強い文教、強い科学技術に向けてⅢ）』（学校経理研究会、2018年）
- 「早稲田大学におけるグローバル・リーダーの育成と奨学金・寄付金戦略（前編）（後編）」学校法人（学校経理研究会）2018年2月号・3月号